



## 2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックス  
 コード番号 4243 URL https://nix.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青 木 一 英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼グローバル管理本部長 (氏名) 先 本 孝 志 TEL 045-221-2001  
 定時株主総会開催予定日 2023年12月23日 配当支払開始予定日 2023年12月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期の連結業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	4,516	1.2	333	66.0	298	15.6	156	△27.0
2022年9月期	4,465	9.7	200	6.6	258	13.1	214	8.8

(注) 包括利益 2023年9月期 186百万円 (△47.0%) 2022年9月期 351百万円 (56.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	67.51	—	3.8	5.1	7.4
2022年9月期	92.49	—	5.6	4.4	4.5

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 △2百万円 2022年9月期 6百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	5,762	4,158	72.2	1,790.19
2022年9月期	5,928	4,018	67.8	1,729.90

(参考) 自己資本 2023年9月期 4,158百万円 2022年9月期 4,018百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	348	△103	△286	1,820
2022年9月期	126	△49	△32	1,838

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	46	21.6	1.2
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	46	29.6	1.1
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		28.2	

(注) 2022年9月期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 創立70周年記念配当 2円00銭

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,355	△3.6	200	△40.0	245	△17.8	165	5.8	71.04

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年9月期	2,323,000株	2022年9月期	2,323,000株
2023年9月期	243株	2022年9月期	243株
2023年9月期	2,322,757株	2022年9月期	2,322,757株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	3,689	△1.8	81	—	157	△16.4	59	△62.3
2022年9月期	3,759	4.9	4	△95.4	188	0.0	158	2.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2023年9月期	円 銭 25.67	円 銭 —
2022年9月期	68.11	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭	
2023年9月期	5,118		3,554		69.4	1,530.35	
2022年9月期	5,372		3,533		65.8	1,521.46	

（参考）自己資本 2023年9月期 3,554百万円 2022年9月期 3,533百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
(6) 事業等のリスク .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受けて、様々な行動制限や経済活動が正常化に向かいつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等により、先行きの見えない困難な状況となっております。また、世界経済も同様に大きな影響を受けており、引き続き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような中、大幅な円安の影響や、当社グループの主要販売先であるOA機器業界での製品需要がやや回復したこと等により、連結売上高は4,516,848千円（前期比51,643千円増）、営業利益は333,224千円（前期比132,514千円増）、経常利益は298,610千円（前期比40,293千円増）、役員退職慰労引当金繰入額の発生等により、親会社株主に帰属する当期純利益は156,817千円（前期比58,018千円減）となりました。

品目別の業績は、次のとおりであります。

#### (ア) 工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品

製品需要が回復した影響から、売上高は3,049,773千円（前期比224,025千円増）となりました。

#### (イ) 生産設備治具

顧客各社の設備投資意欲の減少により、売上高は1,425,418千円（前期比130,706千円減）となりました。

#### (ウ) その他（金型）

売上高は41,657千円（前期比41,676千円減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,576,144千円となり、前連結会計年度に比べ129,757千円減少しております。これは主に売掛金が56,924千円、電子記録債権が53,411千円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は2,186,435千円となり、前連結会計年度に比べ35,706千円減少しております。これは主に投資その他の資産が29,765千円増加し、有形固定資産が63,672千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,070,350千円となり、前連結会計年度に比べ136,626千円減少しております。これは主に1年内償還予定の社債が100,000千円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における固定負債は534,057千円となり、前連結会計年度に比べ168,877千円減少しております。これは主に役員退職慰労引当金が71,170千円、長期借入金が60,073千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,158,171千円となり、前連結会計年度に比べ140,038千円増加しております。これは主に、利益剰余金が110,361千円増加したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,820,016千円（前期比18,511千円減）となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は348,238千円（前期は126,751千円の獲得）となりました。これは主に減価償却費180,485千円、売上債権の増減額150,739千円等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は103,602千円（前期は49,091千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出89,151千円、投資有価証券の取得による支出10,000千円等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は286,780千円（前期は32,567千円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出211,185千円、配当金の支払額46,455千円等によるものです。

#### (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国家間の争いや地政学的リスク、環境問題等の各種課題がより強く顕在化し、合理的な検討や柔軟な対応が要求される状況が続くものと予想されます。

このような厳しい事業環境を踏まえ、当社グループでは引き続きオリジナルプラスチック素材であるNIXAM<sup>®</sup>応用製品による高付加価値新製品の開発・拡販に注力致します。また、生産面で新分野の生産能力の強化を目的とした投資を行い、市場ニーズへの対応力向上を推進してまいります。販売面では海外販売拠点と更なる連携を強化し、地域特性に柔軟に対応しつつ、お客様の抱える様々な課題を解決するための営業活動を継続してまいります。損益面でも引き続き原価低減、経費削減等スリム経営に努めてまいります。このような状況のもと、次期の連結業績見通しにつきましては、円高懸念を反映した予測とさせていただきます、売上高4,355百万円、営業利益200百万円、経常利益245百万円、親会社株主に帰属する当期純利益165百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業展開への備えと研究開発費用として有効な投資を行い、経営の安定化と事業の拡大に努めてまいります。なお、当期につきましては1株当たり20円の普通配当を予定しております。また、次期の配当につきましては1株当たり20円の普通配当とさせていただきます。

#### (6) 事業等のリスク

当社グループにおいて事業展開の上でリスク要因と考えられる主な事項には、以下のようなものがあります。当社グループはこれらのリスク発生の可能性を十分認識の上で、発生の回避及び発生時の対応に鋭意努力してまいります。なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが認識している事項であります。

##### ① 競合等の影響について

当社グループが主要な事業領域としている精密プラスチック部品市場には、当社グループの他、数社が参入しておりますが、事務機器用プラスチック・ファスナーの分野において当社グループは、既に一定の市場シェアを継続して有しているものと考えております。

今後も、新製品の市場投入による市場占有率の向上を目指して、業容拡大を図る方針であります。しかしながら、当社グループの市場シェアを維持できる保証はなく、競合が激化した場合には、当社グループの業績及び財務状態に影響を及ぼす可能性があります。

##### ② 在外子会社の業績変動及び現地情勢変化による影響について

当社グループは「NIX OF AMERICA」(米国)、「香港日幸有限公司」(香港)、「上海日更国際貿易有限公司」(中国)及び「NIX (THAILAND) LTD.」(タイ)と、現地生産強化を目的として設立した合弁会社「珠海立高精機科技有限公司」(中国)を中心とした、積極的な海外事業展開を図っております。海外市場への事業進出には、予期しない法律又は規制の変更、不利な政治的・経済的要因、人材採用の困難さ、為替レート変動による利益の変動、戦争その他の要因による社会的混乱等のリスクが内在しており、それらが発生した場合には、当社グループの業績及び財務状態に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達が少ないため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,838,528	1,820,016
受取手形	74,316	47,126
電子記録債権	308,984	255,572
売掛金	697,228	640,303
商品及び製品	356,369	398,519
仕掛品	63,678	99,953
原材料及び貯蔵品	135,975	148,797
前払費用	25,541	25,017
その他	205,280	140,837
流動資産合計	3,705,902	3,576,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,752,747	1,742,948
減価償却累計額	△1,340,558	△1,372,579
建物及び構築物(純額)	412,188	370,369
機械装置及び運搬具	1,100,030	1,151,105
減価償却累計額	△971,950	△981,579
機械装置及び運搬具(純額)	128,080	169,525
工具、器具及び備品	1,547,868	1,559,332
減価償却累計額	△1,510,743	△1,502,242
工具、器具及び備品(純額)	37,125	57,090
土地	1,234,103	1,234,103
建設仮勘定	111,445	28,182
有形固定資産合計	1,922,943	1,859,270
無形固定資産	74,842	73,043
投資その他の資産		
投資有価証券	16,183	36,854
その他	208,172	217,266
投資その他の資産合計	224,355	254,121
固定資産合計	2,222,141	2,186,435
資産合計	5,928,044	5,762,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	282,921	199,959
電子記録債務	392,276	325,470
短期借入金	27,503	—
1年内返済予定の長期借入金	191,746	140,634
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払金	56,626	73,022
未払法人税等	42,260	13,728
役員退職慰労引当金	—	179,750
その他	113,643	137,785
流動負債合計	1,206,977	1,070,350
固定負債		
長期借入金	142,046	81,973
リース債務	5,430	3,914
繰延税金負債	190,037	132,517
退職給付に係る負債	229,741	250,113
役員退職慰労引当金	132,135	60,965
その他	3,545	4,574
固定負債合計	702,934	534,057
負債合計	1,909,912	1,604,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	468,134	468,134
資本剰余金	388,134	388,134
利益剰余金	2,974,859	3,085,221
自己株式	△194	△194
株主資本合計	3,830,935	3,941,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,690	9,160
為替換算調整勘定	185,506	207,713
その他の包括利益累計額合計	187,197	216,874
純資産合計	4,018,132	4,158,171
負債純資産合計	5,928,044	5,762,579

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,465,205	4,516,848
売上原価	2,555,269	2,454,566
売上総利益	1,909,935	2,062,282
販売費及び一般管理費	1,709,225	1,729,058
営業利益	200,709	333,224
営業外収益		
受取利息	1,137	198
受取配当金	738	812
不動産賃貸料	11,687	11,369
補助金収入	62,931	1,471
持分法による投資利益	6,840	—
その他	3,872	7,188
営業外収益合計	87,208	21,040
営業外費用		
支払利息	1,838	1,612
債権売却損	847	700
為替差損	20,376	44,978
不動産賃貸費用	5,252	4,917
持分法による投資損失	—	2,997
その他	1,286	448
営業外費用合計	29,601	55,654
経常利益	258,316	298,610
特別利益		
固定資産売却益	123	—
特別利益合計	123	—
特別損失		
役員退職慰労引当金繰入額	—	103,080
減損損失	—	25,249
特別損失合計	—	128,329
税金等調整前当期純利益	258,439	170,280
法人税、住民税及び事業税	77,577	71,261
法人税等調整額	△33,973	△57,798
法人税等合計	43,604	13,463
当期純利益	214,835	156,817
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	214,835	156,817



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	214,835	156,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	7,469
為替換算調整勘定	127,483	21,924
持分法適用会社に対する持分相当額	9,342	282
その他の包括利益合計	136,996	29,676
包括利益	351,831	186,493
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	351,831	186,493
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	468,134	388,134	2,794,865	△194	3,650,941
当期変動額					
剰余金の配当			△34,841		△34,841
親会社株主に帰属する当期純利益			214,835		214,835
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	179,993	—	179,993
当期末残高	468,134	388,134	2,974,859	△194	3,830,935

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,520	48,681	50,201	3,701,142
当期変動額				
剰余金の配当			—	△34,841
親会社株主に帰属する当期純利益			—	214,835
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	170	136,825	136,996	136,996
当期変動額合計	170	136,825	136,996	316,990
当期末残高	1,690	185,506	187,197	4,018,132

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	468,134	388,134	2,974,859	△194	3,830,935
当期変動額					
剰余金の配当			△46,455		△46,455
親会社株主に帰属する当期純利益			156,817		156,817
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	110,361	—	110,361
当期末残高	468,134	388,134	3,085,221	△194	3,941,297

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,690	185,506	187,197	4,018,132
当期変動額				
剰余金の配当			—	△46,455
親会社株主に帰属する当期純利益			—	156,817
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	7,469	22,206	29,676	29,676
当期変動額合計	7,469	22,206	29,676	140,038
当期末残高	9,160	207,713	216,874	4,158,171

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	258,439	170,280
減価償却費	173,238	180,485
固定資産除売却損益 (△は益)	△114	389
減損損失	—	25,249
補助金収入	△62,931	△1,471
持分法による投資損益 (△は益)	△6,840	2,997
支払利息	1,838	1,612
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,048	20,371
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,500	108,580
売上債権の増減額 (△は増加)	40,665	150,739
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△76,217	△82,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,540	△162,092
その他	15,925	△35,924
小計	235,914	378,312
利息及び配当金の受取額	1,875	1,010
利息の支払額	△1,842	△1,613
補助金の受取額	2,931	61,471
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△112,128	△90,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,751	348,238
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	45,390	—
定期預金の預入による支出	△23,004	—
有価証券の償還による収入	113,175	—
有形固定資産の売却による収入	123	42
有形固定資産の取得による支出	△177,162	△89,151
無形固定資産の取得による支出	△5,475	△3,211
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
その他	△2,138	△1,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,091	△103,602
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△27,624
長期借入れによる収入	250,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△244,982	△211,185
社債の償還による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△34,841	△46,455
リース債務の返済による支出	△2,744	△1,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,567	△286,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	66,098	23,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	111,192	△18,511
現金及び現金同等物の期首残高	1,727,336	1,838,528
現金及び現金同等物の期末残高	1,838,528	1,820,016

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは工業用プラスチック部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	北米	東南アジア	その他	合計
2,771,573	874,961	448,670	326,997	43,004	4,465,205

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の金額の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	北米	東南アジア	その他	合計
2,651,558	806,429	647,912	318,615	92,334	4,516,848

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の金額の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	1,729円90銭	1,790円19銭
1株当たり当期純利益	92円49銭	67円51銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	214,835	156,817
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	214,835	156,817
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,322	2,322
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上